

## 入選

### 親切が集まる場所

福井県 今庄中学校 1年 石川 薫

僕は、小学生のときにバス通学をしていました。僕が使うバス停は、地域で唯一のとても古くて小さなバス停です。そのバス停のまわりは草っ原で、トカゲやヘビ、バッタなどのいろいろな生き物が住んでいます。晴れた日は、バスを待つ間そこで遊ぶのが楽しみでした。雨の日は、トタン屋根にぶつかる雨の音がとてもうるさかったです。冬はまわりに雪がたくさんつもり、うもれてしまうこともありました。

ある夏休みに、僕たち子供会でこのバス停のペンキをぬり直しました。まず、ホースで勢いよく水をかけてみんなで汚れをこすり落とししました。そして、じゅうぶんかわかしたあとに、刷毛でペンキをぬっていきました。高いところは大人がやりました。暑くて大変でしたが、とてもきれいなバス停になりました。

地域の人たちが、きれいになったバス停を見てとても喜んでくれました。地域の奉仕活動で、みなでごみ拾いなどをしたことがありましたが、このときのように直接感謝の気持ちを伝えてもらって、誰かの役に立てることがこんなにうれしいものだと知りました。

このことをきっかけに、僕自身も知らないうちに誰かから親切をもらっていることに気がつきはじめました。

バス停のまわりの草っ原の草かりが、定期的にされていることに気がつきました。僕の近所のおじさんが仕事から帰ってきてから、草かり機でしてくださっているところを見かけました。

雪が積もった冬の朝には、僕たちがバス停へ行く時間よりもっと早くからスコップで除雪してくださっている方がいらっしゃいます。また、仕事が休みの日に自家用の除雪機で本格的に除雪してくださる方もいらっしゃいます。

こうして僕たちは、たくさんの方々に助けをもらいながら、安全に学校に通うことができていたのです。それだけではありません。家からバス停までの道のりは、たくさんのおにに面しているため、登校のときも下校のときも、おにで作業をしている地域の方々が声をかけてくれます。こちらから「こんにちは」と言うと、「おつかれさん」と返してくれます。思えば、僕たちの登下校を見守ってくださっていたのです。

こうしてこのバス停は、地域みんなの親切が集まる場所になっていたのです。僕は今、中学生になって自転車通学になりましたが、これからは、今までもらった親切の恩返しをできるように、僕に何が出来るか考えていきたいです。